

事業所名

まごころキャンパス

支援プログラム

作成日

R6

年

12月

18日

法人（事業所）理念		誰もがあたりまえに成長していける場所を作ります				
支援方針		放課後に友だちと公園で遊ぶ、近所のお店で買い物をする、お休みの日に親戚の人とお出かけする、そんな当たり前の日常の中で、子どもたちは他者とのかかわり方を学び、成長していきます。 障がいがあっても普段から多くに人と関わり、地域で活動することで子どもたちが成長していけるような場所でありたいと考えて支援を行っています。				
営業時間		14時	30分	18時	0分	送迎実施の有無 あり
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	身体の健康を維持できるよう、過不足や偏りのない飲食ができるように支援を行う。 運動・工作・調理・遊び等を楽しみ、心地よい生活が維持できるよう支援を行う。 日常生活において本人ができることを増やし、自立を促す。				
	運動・感覚	自身の体調や身体感覚を自覚し、適切に休憩を取り、また衣類の調整などを行なうことができるよう支援を行う。 適度に体を促し、身体能力の発達を促すとともに、生活リズムが安定するよう支援を行う。 本人の身体特性に応じて、適切な体の動かし方を身に付けられるよう支援を行う。				
	認知・行動	タイムスケジュールにそって行動できるように支援を行う。 パニック等により、本人及び周囲に不利益が生じることがないように支援を行う。 本人及び本人の周囲に危険が及ばないように、発達段階に合わせた支援を行う。 こだわり等がある場合は、周囲とのあつれきを生まない範囲で納得できるよう支援を行う。 発達段階に応じて遊びの幅を広げられるよう支援を行う。 本人の認知能力や発達特性に応じた学習支援を行う。				
	言語 コミュニケーション	本人の特性に合ったコミュニケーション方法が選択できるよう支援を行う。 発達段階に応じたコミュニケーション能力を獲得できるよう支援を行う。 相手の状況に合わせてコミュニケーション方法を選択できるよう支援を行う。				
	人間関係 社会性	周囲の児童と適切な関りが取れるよう支援を行う。 公共施設や交通機関の使い方を学べるよう支援を行う。 環境に応じたふるまい方を身に付けられるよう支援を行う。				
家族支援		児童の来所時や退所時に、保護者と情報共有を行ない、家庭の支援に努める。また必要に応じて自宅への訪問や面談を行い、家庭環境を整える手助けを行う。		移行支援		特別支援学校の進路指導担当教員や相談支援専門員と連携を取り、本人の特性に合った卒業先が見つかるよう、本人や保護者を支援する。
地域支援・地域連携		地域の公共施設を積極的に利用し、児童が地域で暮らす経験を積めるよう支援する。		職員の質の向上		定期的に福祉職員生涯研修や虐待防止研修などを受講し、地域自立支援協議会が実施するセミナー等積極的に職員を参加させる。
主な行事等		ハイキング・温泉・バーベキュー・工場見学・水遊び・果物狩り・雪遊び・釣り等の行事を年間数回程度実施。				